

窓辺をかえる、明日が変わる。

**TOSO トソー株式会社**

(東証2部 証券コード : 5956 )



平成30年3月期 (2017年度)  
**第2四半期 決算説明**

**2017年11月**

# 1. 事業環境および当社の状況

# 事業内容（主な製品）

## 室内装飾関連事業（カーテンレール類）

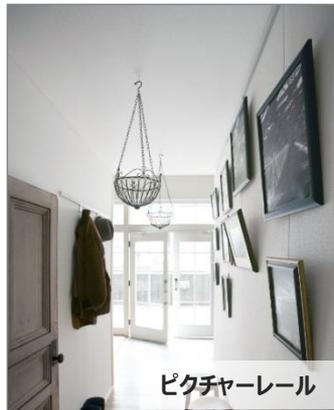
住宅用カーテンレール



病院用カーテンレール



ピクチャーレール



電動カーテンレール



## 室内装飾関連事業（ブラインド類・間仕切類）

ベネシャンブラインド



ロールスクリーン



バーチカルブラインド



パネルドア／アコーディオンドア



## その他の事業



介護関連用品



物流関連事業

### その他の事業

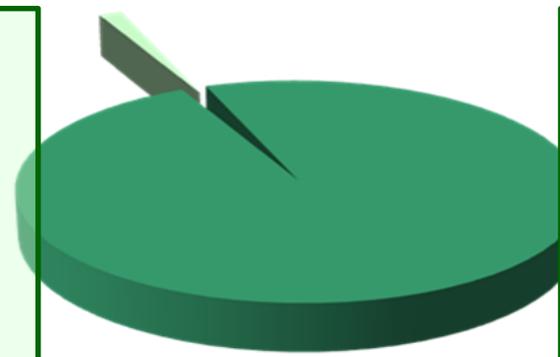
売上高構成率

2%

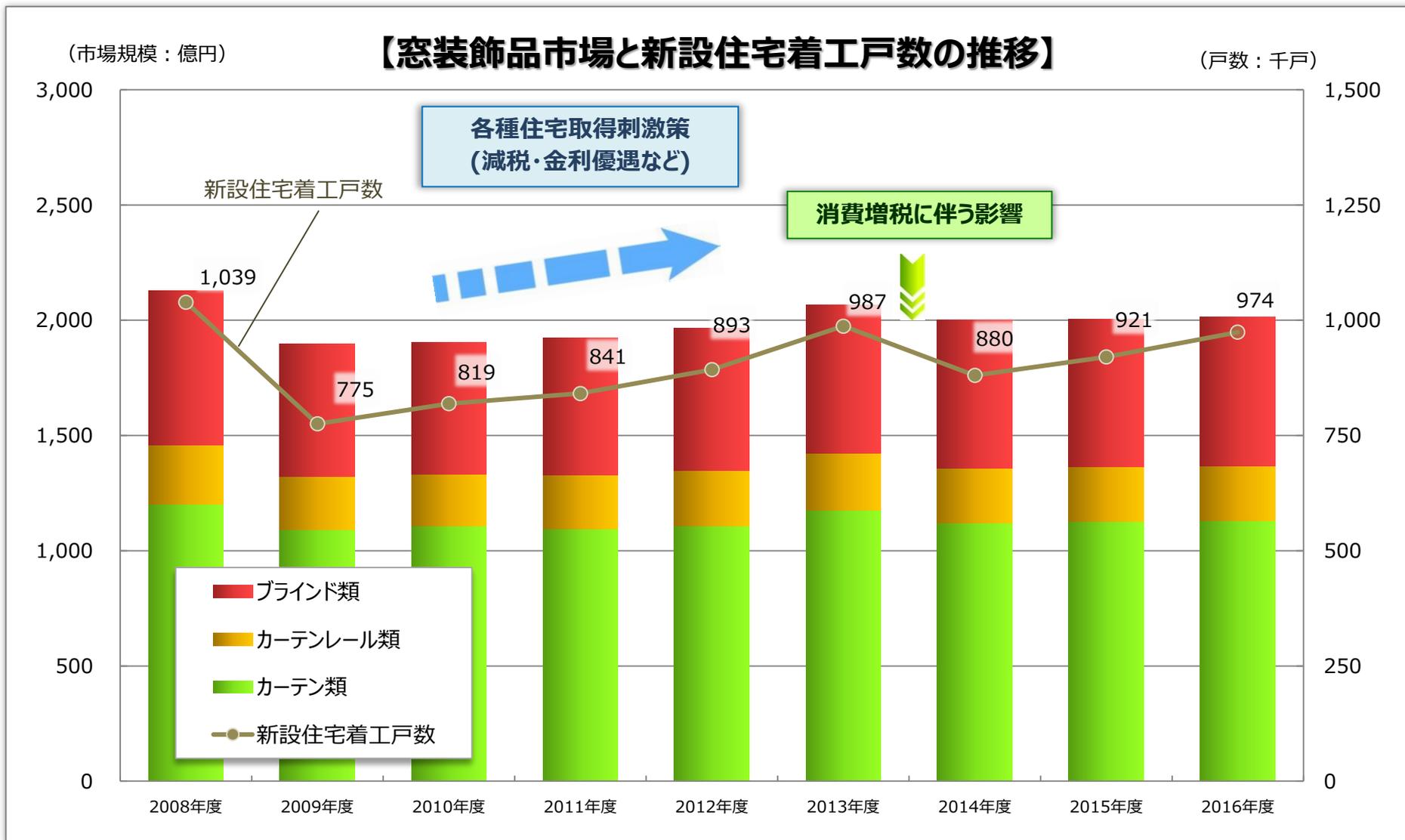
### 室内装飾関連事業

売上高構成率

98%



## 窓装飾品市場の状況



※データ出典：国土交通省、日本インテリアファブリックス協会

## 市場規模と当社シェア

カーテンレール類・ブラインド類

国内市場規模：約**885**億円（2016年度）カーテンレール類  
約**237**億円約**50**%

安定した収益基盤

TOSO

ブラインド類  
約**648**億円約**15**%

シェア拡大の余地あり

※ カーテンレール工業会およびブラインド工業会数値より当社推定

# 製品分類別 売上高構成 (室内装飾関連事業)

間仕切り類

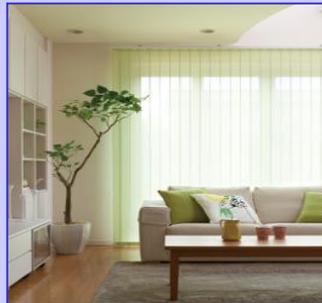
構成率 **2%**



ブラインド類

構成率 **42%**

近時はシェア拡大傾向



カーテンレール類

構成率 **47%**

60年以上にわたり  
国内シェアNo.1



※その他：施工費・運賃など

## 販売先別 売上高構成（室内装飾関連事業）

### 海外販売

構成率 約 **3** %

アジア・欧州への販売 他

### その他販売

構成率 約 **14** %

メーカーへの資材販売・OEM供給など

### 専門店・工事店

構成率 約 **71** %



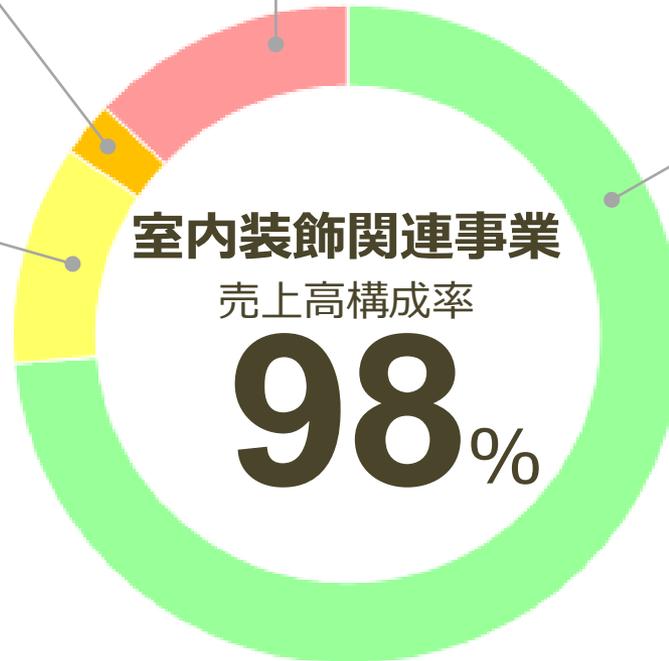
住宅メーカー・工務店納入業者  
インテリア専門店・家具店  
建築金物業者・建材業者  
ゼネコン納入業者 他

### 大型小売業

構成率 約 **12** %



ホームセンター・GMS・通販 他



## 新設住宅市場中心の販売

## 2. 業績概況

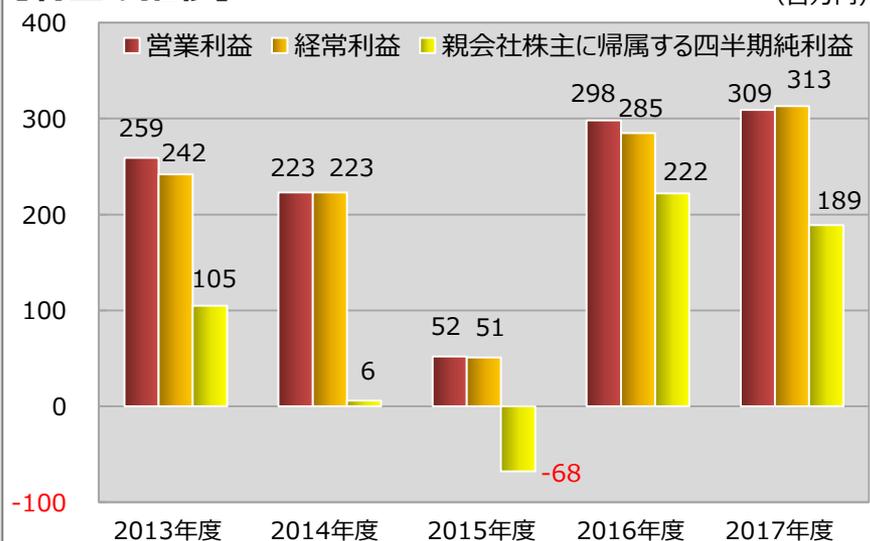
## 第2四半期業績概況

	前年同期比		コメント
売上高	0.8%減収	↘	住宅投資の鈍化等
営業利益	11百万円の増益	↗	資材価格や物流費は上昇も、販売関連費用等を低減
経常利益	28百万円の増益	↗	営業外費用の減少
親会社株主に帰属する 四半期純利益	32百万円の減益	↘	前年同期の特別利益計上（66百万円）が影響

## 【売上高の推移】



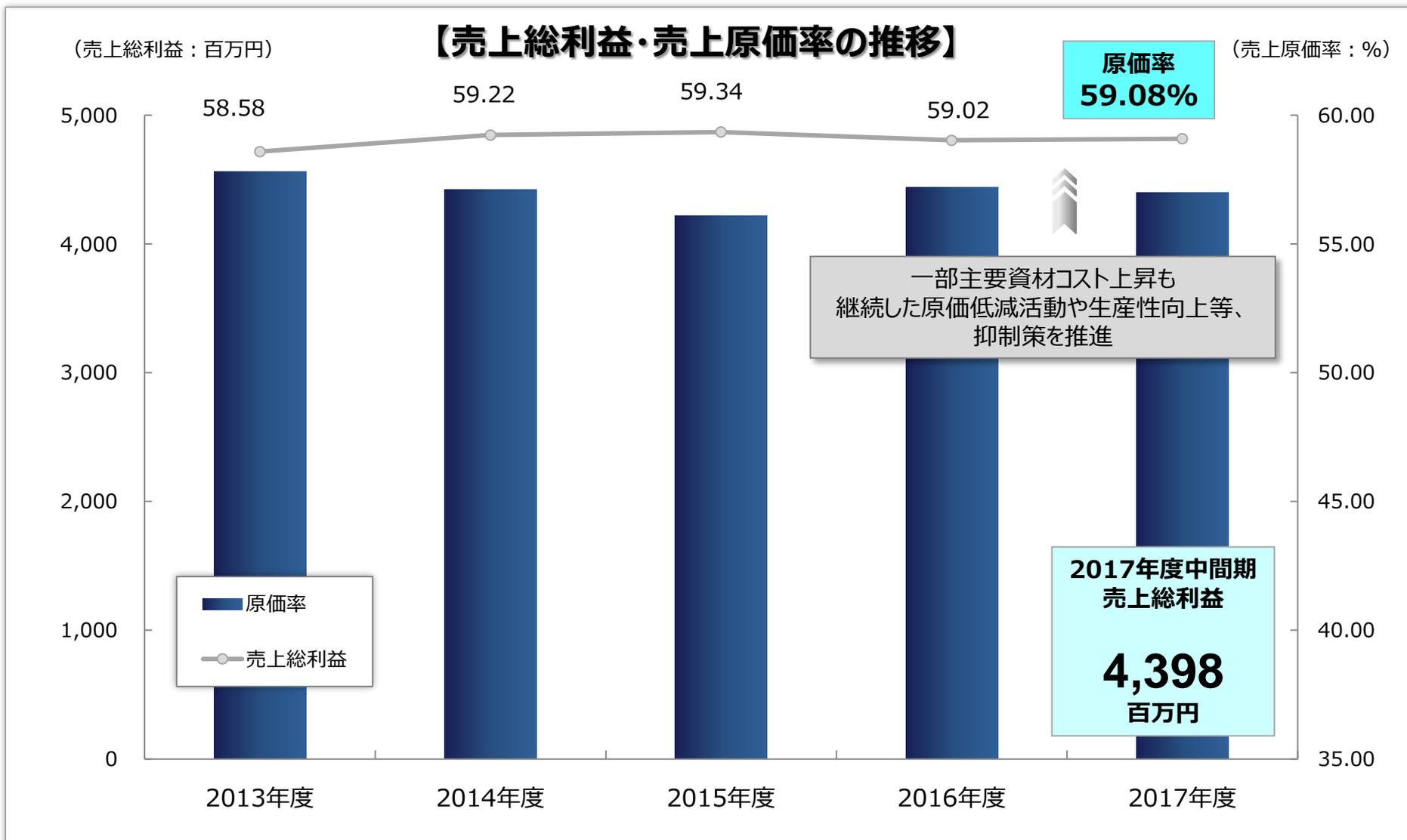
## 【利益の推移】



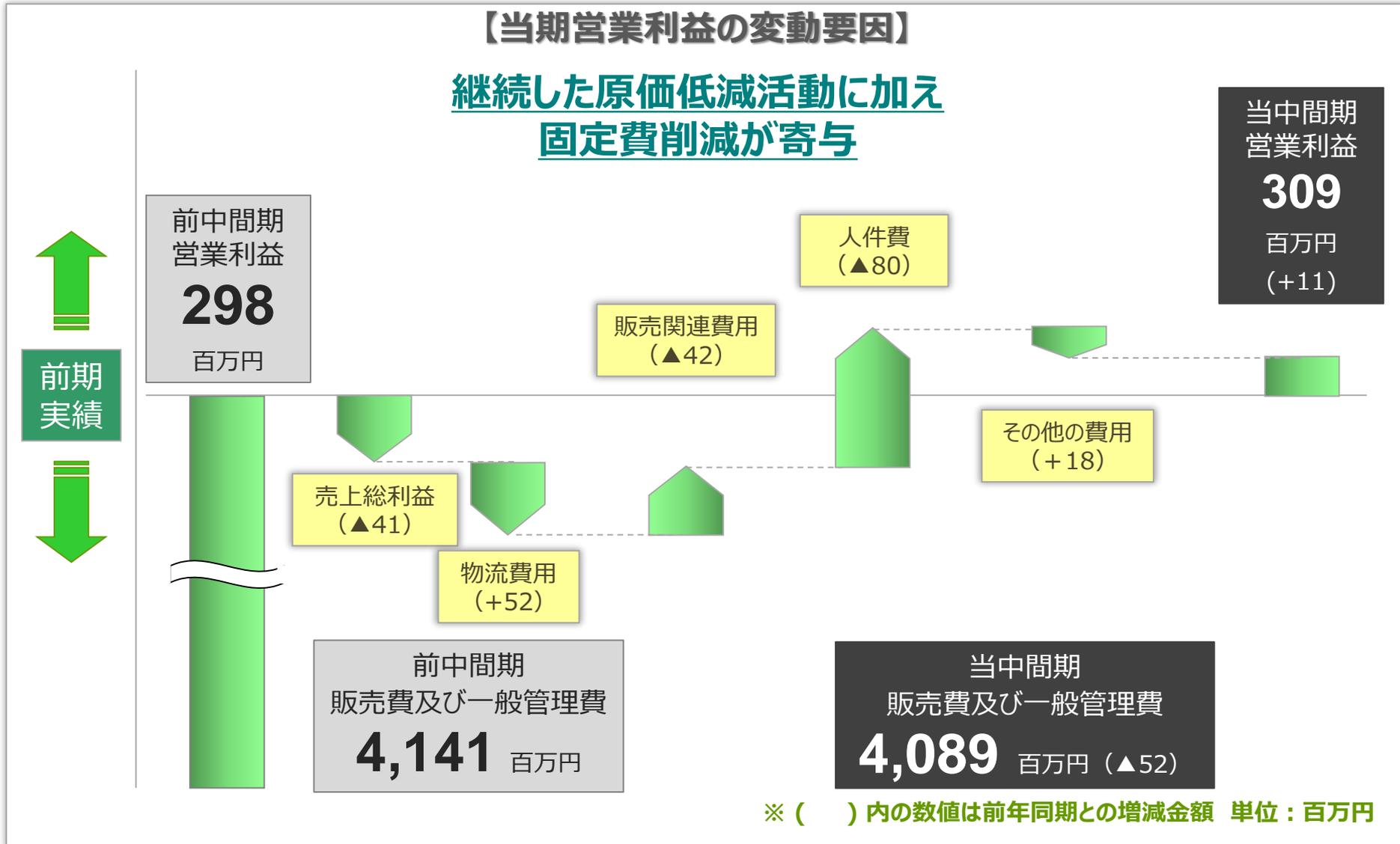
## 連結売上高の状況

	商品	販売状況	コメント
室内装飾関連事業	カーテンレール類 	販売状況 ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 家具とのコーディネートに焦点を当てた新製品「ノルディ 25」を中心とした展示会開催による販売促進活動（全国16ヶ所にて開催）</li> <li>➤ シェア維持・拡大に向けた新規獲得活動を推進</li> <li>➤ 住宅投資の鈍化やインテリアトレンドの変化等が影響</li> </ul>
	ブラインド類 	販売状況 ↑	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ カーテンと相性の良いスクリーンシリーズ「ルノファブ」発売</li> <li>➤ 木製ブラインド等、デザイン性の高い製品の拡販推進</li> <li>➤ 非住宅施設（ホテル・医療福祉・文教等）の獲得</li> <li>➤ 窓以外のスクリーン需要取り込み推進</li> </ul>
その他の事業	その他の事業 	販売状況 →	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 新製品のプロモーションや新規開拓活動を強化</li> <li>➤ 原価低減の推進</li> </ul>

## 売上総利益と原価率の状況



## 固定費と利益の状況



## 貸借対照表・キャッシュフローの状況

## 【貸借対照表】

※単位：百万円( )内は前期末比増減

## 《主な変動要因》

## 流動資産

- ・現金及び預金 (▲299)
- ・受取手形及び売掛金 (▲526)など

## 固定資産

- ・機械装置及び運搬具(純額)  
(▲36)
- ・無形固定資産 (▲33)
- ・投資有価証券 (+47) など

総資産 **20,418** 百万円 (▲641)流動資産  
**14,885** (▲624)固定資産  
**5,533** (▲17)

## 負債

**8,817** (▲796)有利子負債  
**3,126** (▲127)純資産  
**11,601** (+154)

## 《主な変動要因》

## 負債の部

- ・1年内返済予定の長期借入金  
(+453)
- ・未払金 (▲247)
- ・長期借入金 (▲613) など

## 純資産の部

- ・利益剰余金 (+117)
- ・繰延ヘッジ損益 (+61) など

## 【キャッシュフロー計算書】

	前中間期	当中間期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	<b>914</b> 百万円	<b>131</b> 百万円	<b>▲782</b> 百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲320</b> 百万円	<b>▲170</b> 百万円	<b>150</b> 百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	<b>▲365</b> 百万円	<b>▲240</b> 百万円	<b>124</b> 百万円

## 通期業績見通し

	2016年度 第2Q累計	2017年度 第2Q累計	前年同期比	2016年度 通期実績	2017年度 通期見通し	前期比
売上高	10,833	10,748	99.2%	22,479	<b>23,000</b>	<b>102.3%</b>
原価率	59.02%	59.08%	(※) 100.1%	58.27%	(原価低減活動を継続推進)	
販管費	4,141	4,089	98.7%	8,373	(効率・採算性を重視した費用執行)	
営業利益	298	309	103.7%	1,007	<b>710</b>	<b>70.5%</b>
経常利益	285	313	110.0%	999	<b>700</b>	<b>70.0%</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	222	189	85.3%	702	<b>430</b>	<b>61.2%</b>

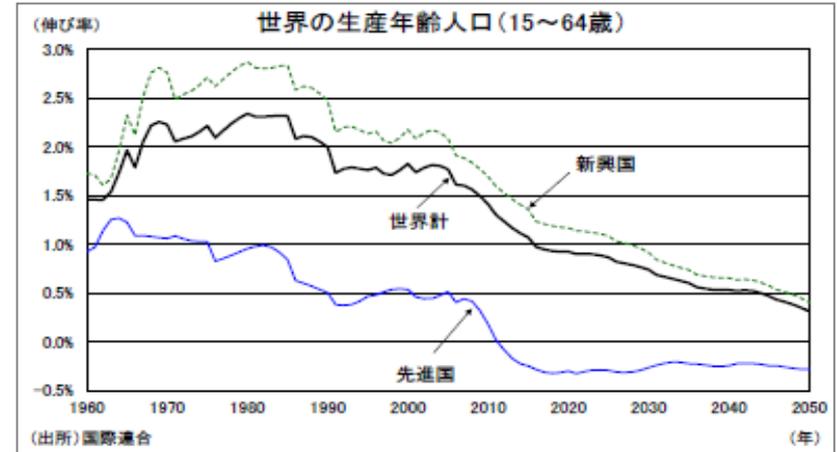
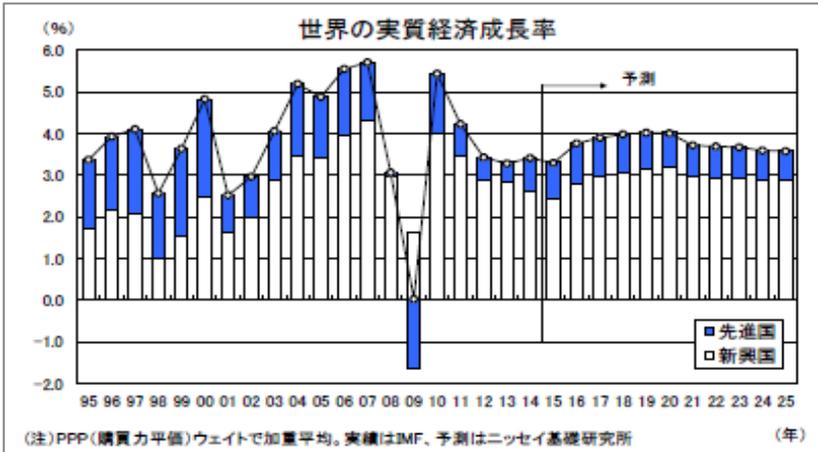
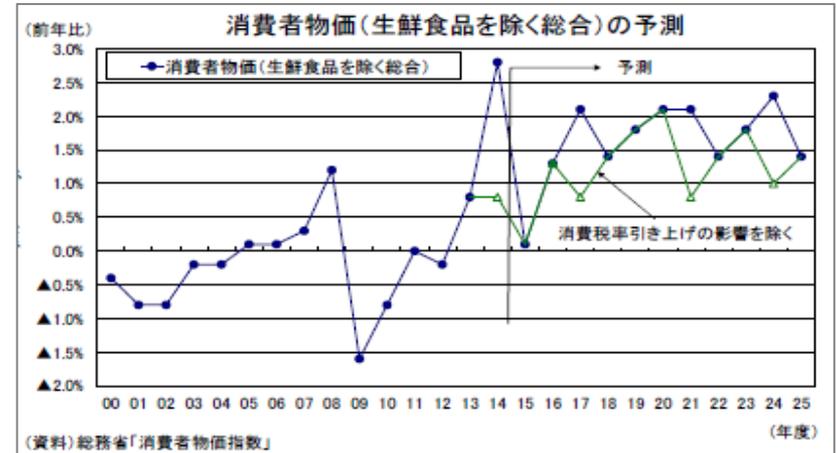
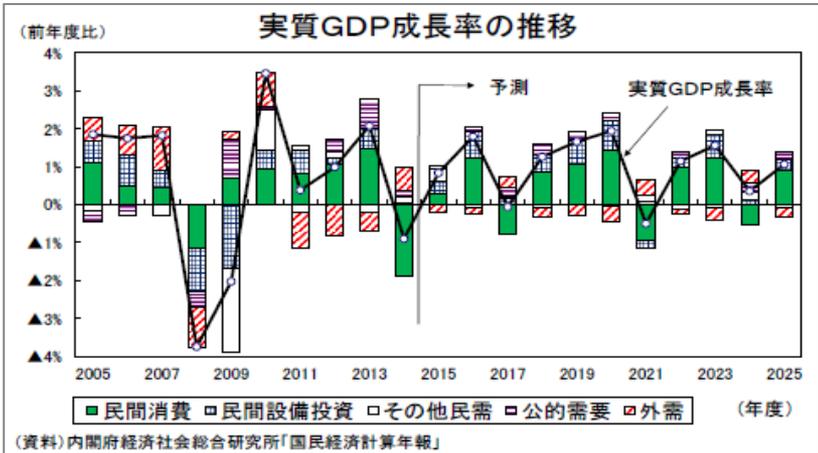
(※)原価率の前年同期比は、「2016年度原価率」÷「2015年度原価率」にて算出

## 【下期見通しについて】

市場環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業収益や雇用環境は引き続き緩やかな改善が続くことが見込まれる</li> <li>・住宅投資の鈍化や人手不足を背景とした物流費の上昇等、懸念材料あり</li> </ul>
売上高	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーテンレールの新製品やデザイン性の高いブラインド類の拡販活動や新規顧客開拓活動等、住宅分野の深耕</li> <li>・非住宅分野等の成長領域への取り組み強化</li> </ul>
利益	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原価低減活動や生産性向上の推進、一層の固定費削減等、収益体質の強化に向けた取り組みを継続</li> </ul>

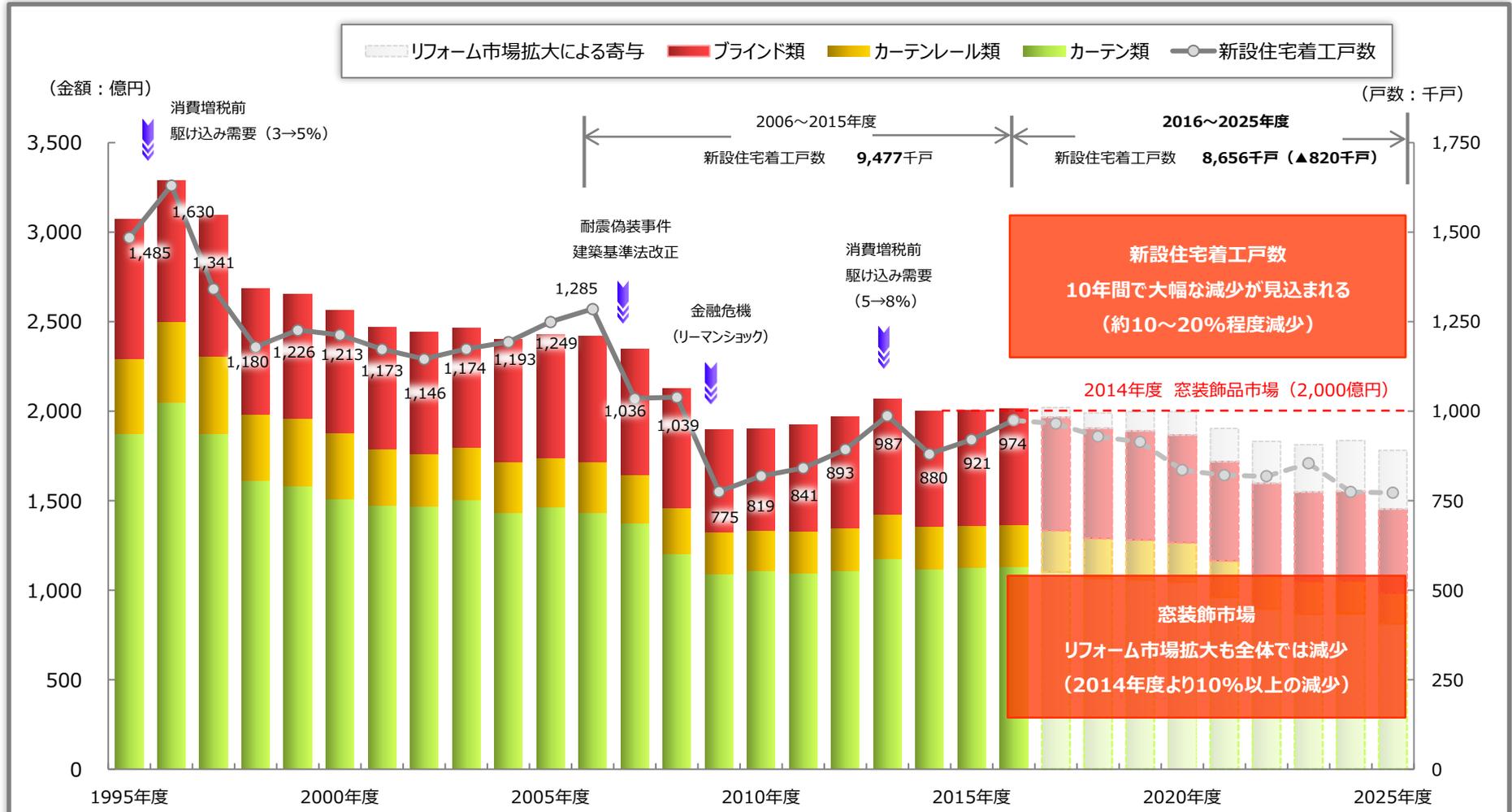
### 3. 今後の活動について

# 市場環境の見通し



**短期的にはやや回復基調となるものの、それ以降は不透明な状況**

# 新設住宅着工戸数と窓装飾市場の中期予測



**コアビジネスに関連性の高い新設住宅着工戸数は中期的に漸減傾向**

※最新の民間シンクタンク発表「日本経済中期見通し」、「日本インテリアアプリアクセス協会資料（卸売ベース）」より当社推定

# 新経営ビジョン「Vision2025」

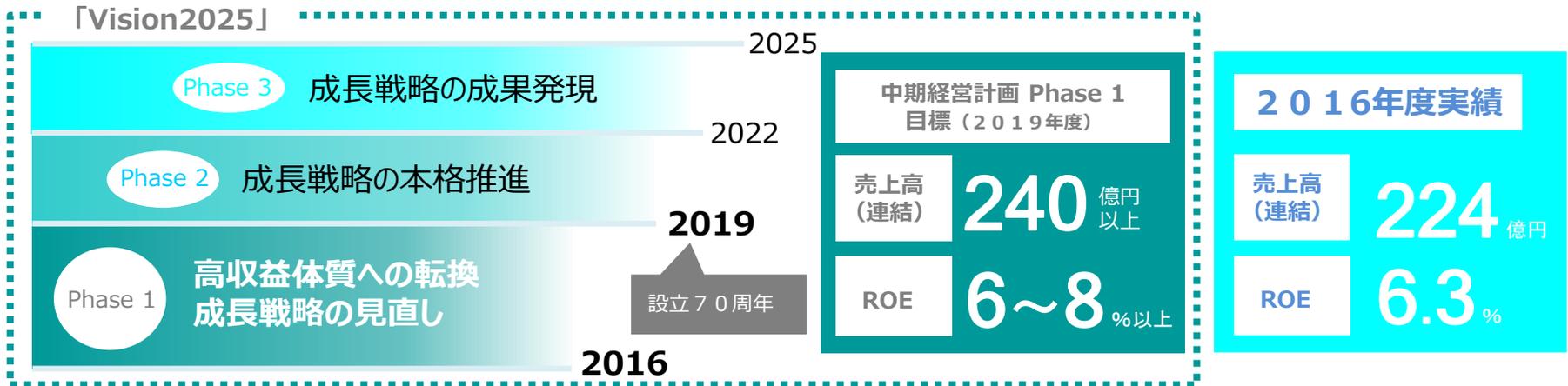
## 【Vision2025】

～ 夢を現実に! Catch our dreams ～

「Vision2025」の始動から1年が経過。

「Vision2025」では、当社が得意とする住宅市場での事業基盤を固めながら、成長戦略である非住宅分野の拡大と海外事業を強化し、また、新規分野でのビジネス領域を拡大することで持続的な企業成長を目指しています。2年目となる2017年度も継続して課題解決に取り組み、重点施策を推進いたします。

設立70周年を迎える経営ビジョン「Vision2025」のPhase1最終年度(2019年度)に向け、まずは高収益体質への転換・成長戦略の軌道修正を図ります



【Vision2025 経営目標 (2025年度)】

**連結売上高：270億円以上 ROE：8%以上**

## 中期経営計画（「Vision2025」Phase1：2016-2019年度）

### 【重点施策】

#### 高収益体質への転換

- ① コアビジネスにおける経営資源の再評価
- ② カーテンレール国内シェアNo.1戦略の徹底
- ③ バリューチェーン再構築

#### 成長戦略の軌道修正

- ① 非住宅分野：宿泊、医療等の施設を中心とした物件獲得活動の強化
- ② 海外事業：アジアにおける拡大するリテール分野でのビジネスモデル構築
- ③ 新規分野：歩行支援介護ビジネス、特定企業向け用途開発・専用品供給の拡大

#### 戦略ドメイン（事業領域）の転換

- ① 当社の強みを発揮できる事業領域へのシフト
- ② 投資効果を考慮した商品開発・生産体制・販売手法の見直し
- ③ 商流の変化に対応した販売体制の構築

#### 人材育成

- ① ICT時代を牽引する次世代リーダーの育成  
※ICT：Information and Communication Technology
- ② 従業員の基礎知識向上を目指した実践的な育成体系作り

**TOSO トーソー株式会社**  
(東証2部 証券コード : 5956 )

当資料に関するお問い合わせ先：トーソー株式会社 経営企画室

TEL : 03-3552-5877      FAX : 03-3552-1380      E-mail : [ir@pub.toso.co.jp](mailto:ir@pub.toso.co.jp)